

(參考資料)

全国ハイヤー・タクシー連合会「今後新たに取り組む事項」

- 全国ハイヤー・タクシー連合会では、平成28年10月より、「今後新たに取り組む事項」（11項目）への取組が進められてきたが、2年以上が経過し、一定の進捗を見たことから、令和元年6月に、新たに追加する9項目を決定
- 今後は、従来の11項目と合わせた計20項目について、さらなる取組を進めていく方針
- 国土交通省としても、その実現に向けて後押しをしていく

全国ハイヤー・タクシー連合会「今後新たに取り組む事項」の主要項目

- 相乗り運賃【令和2年3月31日～パブリックコメントを実施済】
- 事前確定運賃(配車アプリで運賃を算出し、事前に運賃を確定するサービス)
【令和元年10月28日から運用開始】
- ダイナミックプライシング(需要に応じた柔軟なタクシー料金の設定)
【令和2年11月30日から運用開始】
- 定期運賃タクシー(鉄道の定期券のように対象者・エリア・回数等を限定して定額でタクシーを利用できるサービス)
【令和2年11月30日から運用開始】
- ユニバーサルデザイン (UD) タクシーの導入促進：2020年度までに44,000台【実施中】
- 訪日外国人等の富裕層の需要に対応するためのサービス(高級車両・多言語対応・Wifi設備等)【実施中】
- 乗合タクシー(交通不便地域対策・高齢者対策・観光型等)【実施中】
- MaaSへの積極的参画【実施中】
- 自動運転技術の活用方策の検討【検討中】
- 大規模災害時における緊急輸送に関する地方自治体との協定等の締結の推進【実施中】

- 配車アプリの活用などによる新たな運賃・料金サービスについて実証実験を通じて検討し、利用者利便の向上や需要の活性化を目指す。
- タクシー事業の運行の効率化により、生産性の向上やドライバーの労働環境の改善を推進する。

事前確定運賃【導入済】

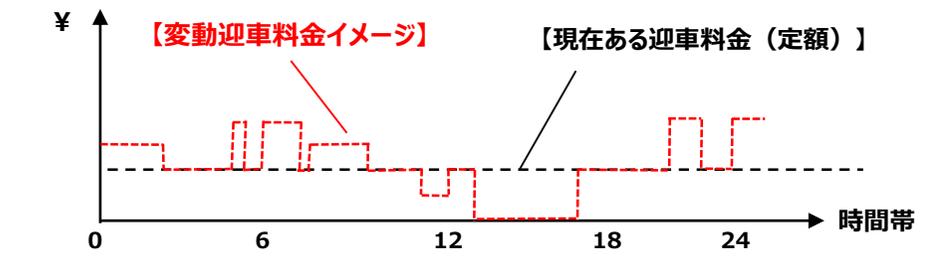
配車アプリを活用してタクシーに乗車する前に運賃を確定するサービス



平成31年4月に運用ルールを策定。令和元年10月28日から運用開始。

変動迎車料金【導入済】

過去の輸送実績等から時間帯毎のタクシー需要を判断し、それに応じて段階的に価格を変動させる迎車料金



令和2年11月30日に運用ルールを策定。

タクシーの相乗り

配車アプリで目的地が近い旅客同士をマッチングしてタクシーを配車し、複数の旅客が相乗りして割安にタクシーを利用できるサービス



○利用者①の相乗り運賃：6,190円 ○利用者②の相乗り運賃：5,310円
 （単独利用の場合：8,770円） （単独利用の場合：7,570円）

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら導入時期を検討。

一括定額運賃【導入済】

事業者が利用可能区域や利用回数などの条件を定めた上で、条件の範囲内で、一定期間、定額で乗り放題とする運賃

○サービス例

(従来3,000円)

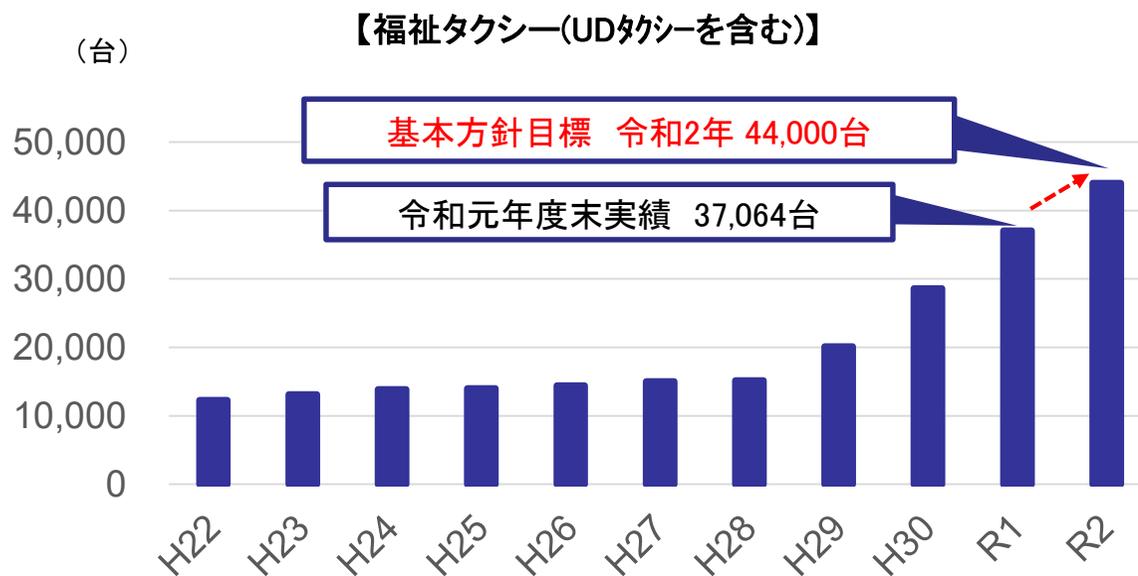
1回あたり2,700円

- ・ 自宅、病院等を乗降車地に設定
- ・ 利用回数を設定
- ・ 定額運賃算出例
 想定運賃3,000円×20回
 ×1割引 = 54,000円

令和2年11月30日に運用ルールを策定。

バリアフリー法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針(告示)」^(※)の目標 及び バリアフリー車両の導入推移

※バリアフリー法第3条:主務大臣は、移動等円滑化を総合的かつ計画的に推進するため、移動等円滑化の促進に関する基本方針を定めるものとする。



年度末	台数
H22	12,256
H23	13,099
H24	13,856
H25	13,978
H26	14,644
H27	15,026
H28	15,128
H29	20,113
H30	28,602
R1	37,064

<福祉タクシー車両の例>

リフト付き(セレナ)



スロープ付き(NV200)



ストレッチャー対応車(旧型ハイエース)

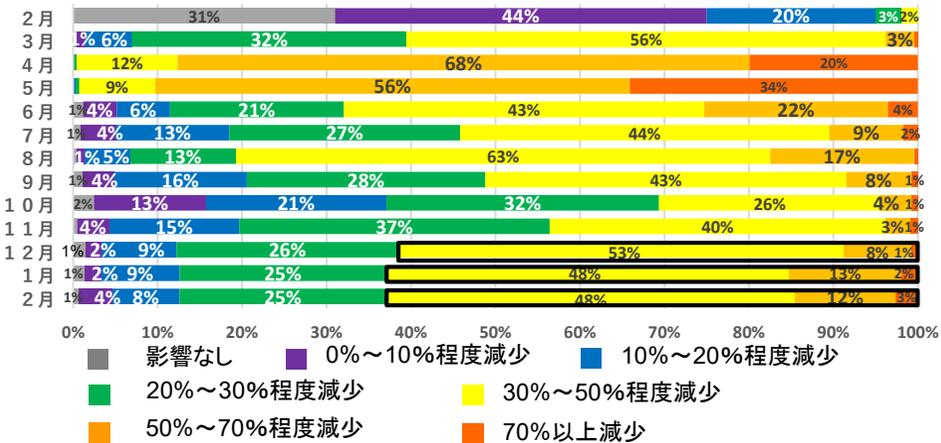


回転シート車(コンフォート)



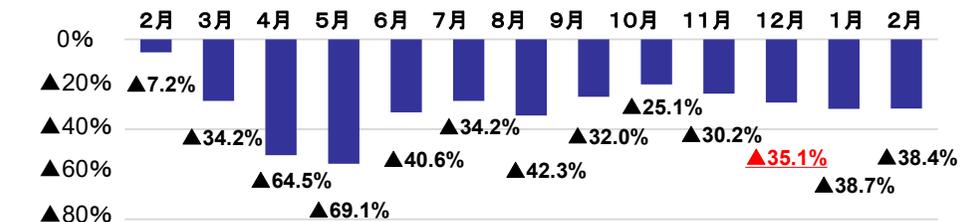
- 12月においては、運送収入が30%以上減の事業者が62%、輸送人員が35%減となるなど、夜間の会食・外出の自粛や感染再拡大の影響により状況が悪化。
- 1月以降、緊急事態宣言の影響等により、63%の事業者が30%以上の運送収入減を見込むなど、引き続き厳しい状況となる見通し。
- 支援制度については、資金繰り支援を98%の事業者が活用しており、97%の事業者が給付済み。雇用調整助成金を約82%の事業者が活用しており、約75%の事業者が給付済み。

○運送収入（2019年同月比）（1・2月は見込み）（回答：235者）

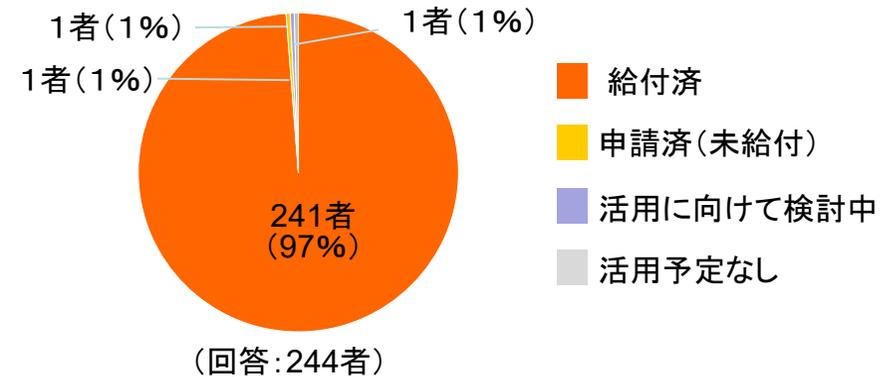


タクシー業界全体の1ヶ月あたり運送収入減少額(想定)
 ⇒前年の収入約1,218億円のうち、約3割の約365億円が減少
 (業界全体の売上金額と、12月の減少率から推計)

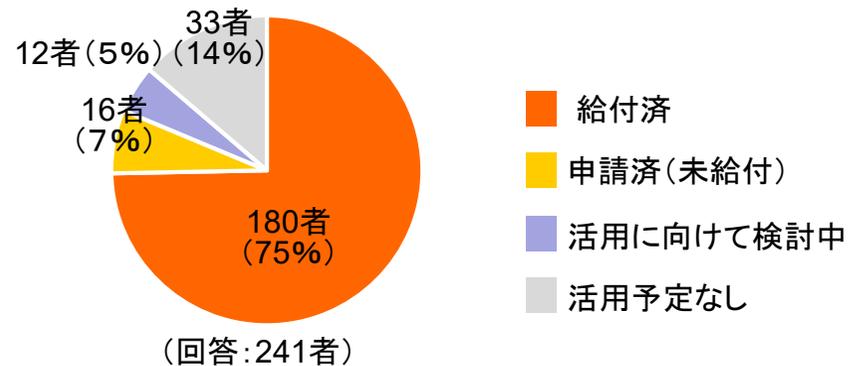
○輸送人員（2019年同月比）（1・2月は見込み）（回答：235者）



○資金繰り支援の活用状況



○雇用調整助成金の活用状況



「危機に瀕する地域公共交通の持続可能な運行確保に向けた支援」に取り組み、新技術を活用したコロナ対策により、安全・快適な車内空間の実現等を図る。

1. コロナフリーな車内空間の実現（車内の空気清浄）

○ 高性能フィルタによりウイルスを除去

- ・ 概要：高性能フィルタ(N100)を有する空気清浄機により、ウイルスを除去（タクシーの場合、4分でウイルスを1/1000まで低減）
- ・ 価格：6万円／装置【※精査中】（装着数の目安：タクシー1装置程度、大型バス2装置程度）



2. 車内空間の状態の「見える化」（清浄効果の表示）

○ 空気清浄モニター

- ・ 概要：車内の空気清浄状態をセンサを用いてモニタリングし、結果をタブレット等により表示
- ・ 価格：4万円／装置【※精査中】

